

～新加入選手特集～

チームに新しい風を吹かせる新加入選手達
今回はそんな各チームの新加入選手に注目した



サンフレッチェ広島

リーグチャンピオンへ。サンフレッチェ広島、期待の新戦力



©2023 S.FC

2023 シーズン、サンフレッチェ広島には、5 人の新加入選手が入団した。他のチームからは、志知孝明選手（アビスパ福岡から移籍加入）、田中雄大選手（ブラウブリッツ秋田から移籍加入）の 2 人が加入した。新人として、中野就斗選手（桐蔭横浜大学出身）、山崎大地選手（順天堂大学出身）、越道草太選手（サンフレッチェ広島ユース）の 3 人が加入した。そこで今回は、開幕からルーキーながら主力として活躍している、中野就斗選手にインタビューした。

○中野選手がファンの方から呼ばれたい名前を教えてください。

中野：「ナカノと呼んでいただきたいです。」

○サッカーにおけるストロングポイントを教えてください。

中野：「対人の強さと推進力、セットプレーからの得点力です。」

○憧れの選手を教えてください

中野：「富安健洋選手です。」

○サンフレッチェ広島に入団して良かったことを教えてください。

中野：「このチームでサッカーできていることが幸せです。」

○最後に今シーズンのチームとしての目標と、個人としての目標を教えてください。

中野：「チームとしては、ユニフォームの星を増やす（タイトルを獲得）ことです。個人としては 1 年目からスタメンを取ることです。」

サンフレッチェ広島は、昨年リーグ 3 位と惜しくもリーグ優勝とはならなかった。期待の新戦力の加入によりチーム力が上がった。今年こそはリーグ優勝を目指したい。

（楠本海斗）



©2023 S.FC



新しい新戦力を糧に、チーム前進。

ワクナガレオリックは今シーズンから2人の新加入選手が新たに入団した。そこで、新加入選手である根路銘泰成選手と山田和直選手取材した。

根路銘選手はPVという連携攻撃でディフェンスの守備をブロック、シュートへ行くことで相手のディフェンスが警告を受けやすくなり、自分自身も味方プレイヤーにとっても得点のチャンスが増えるポジションで、身長と長い手足を活かしたディフェンスが強みの選手である。

山田選手はCBといういろんな場面にに応じて的確な指示を出し、相手や状況に応じて、冷静な判断が求められるポジションで、広い視野、PVとの2対2ができるところが強みの選手である。根路銘選手も山田選手もとても真面目で直向きに頑張ることができる選手だと同じチームメイトから言われている。

根路銘選手の今シーズンの目標は新人らしくがむしゃらにプレーすることで、山田選手はチームの勝利に貢献することとコメント。これからの活躍に期待していきたい。(田川大樹)



イズミメイプルレッズ

イズミメイプルレッズに新人選手2名加入

イズミメイプルレッズに新人選手が2名加入した。今回、新人選手2名に意気込みと自身のアピールポイントを伺った。



1人目は、No.6 奈須 貴音(なす たかね)選手。

奈須選手は島根県出身で環太平洋大学出身 ポジションはライトバック(RB)

Q、『アピールポイント』と『来シーズンへの意気込み』

奈須:「力強いミドルシュートとディフェンスの技を使ったシュートの打ち分けが得意なので、シュートの部分に注目して見て下さい!日々成長し、日本一奪還に向けて、新人らしくチームを盛り上げていきます!」

2人目は、No.8 篠 愛里(しの あいり)選手。

篠選手は神奈川県出身で筑波大学出身 ポジションはピボット(PV)

Q、『アピールポイント』と『来シーズンへの意気込み』

篠:「相手の強みを先手で潰すアグレッシブなディフェンスを心掛けています。オフセンスでは、フィジカルを活かしたライン側のプレーに注目してください。新人らしく、泥臭く、日本一に向けて駆け抜けたと思います!」



新人選手2名は強い意気込みを語ってくれた。前シーズンは5位でプレーオフを逃し悔しい思いをした。新人選手2名を加えた来シーズンは「百万一心」というチームスローガンを胸に日本一に向かって走り抜けていく。

(中谷拓斗)



強力選手の加入でチームのさらなる加速へ

昨年度トップス広島に加入したヴィクトワール広島の。2023 年度は新加入選手 6 名を含めた総勢 12 名の布陣で今後のレースに臨んでいく。今回の記事では、2 名の新規加入選手に焦点を当てて紹介したいと思う。

1 人目はベンジャミン・ダイボール選手だ。脚質はクライマーであり、2022 年に開催されたツール・ド・台湾では総合優勝を果たしている。2 人目は中田拓也選手だ。脚質はスプリンターであり、2017 年に開催された西日本チャレンジ U23 優勝や 2018 年に開催されたツールド沖縄 7 位（新人賞）という成果を挙げている。今回はこの 2 名の選手にインタビューを行った。

以下、ベンジャミン・ダイボール選手→ダイボール、中田拓也選手→中田

Q1.ヴィクトワール広島に入る前と入った後の印象を教えてください。

A. ダイボール：チームに入る前は、ライダーがどれだけ強いかわからなかったのですが、今は全員がとても強いと実感しています。また、チームはとてもよく組織化されています。

Q2.自分の強みを教えてください。

A.ダイボール：私の得意分野はクライミングと GC を狙えることです。（GC とは総合順位。）

Q3.今後の目標を教えてください。

A.ダイボール：今後の目標は、5 月 21 日から開催される TOJ で優勝することです。（TOJ = ツアー・オブ・ジャパン 5/21～5/28）



Q1.ヴィクトワール広島に入る前と入った後の印象を教えてください。

A. 中田：入る前はここ数年で勢いがすごいという印象。入った後は思ってる以上にチームワークも築けてファンの熱量も凄く頑張りたい！という気持ちが強くなりました！

Q2.自分の強みを教えてください。

A.中田：スプリント力と大きな声です！

Q3.今後の目標を教えてください。

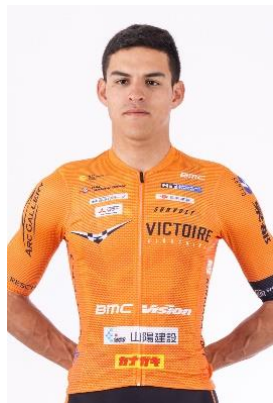
A.中田：平坦系のレースでの勝利と広島開催の広島クリテリウム優勝です！

今回インタビューを行った 2 名の選手の他にも、カーター・ベトルス選手、レオネル・キンテロ選手、宮崎健太選手、平井杏周選手、以上 4 名の新規加入選手がヴィクトワール広島に加わった。2023 年度新体制を迎えたヴィクトワール広島の活躍に期待したい。

（板金祐也）



カーター・ベトルス選手



レオネル・キンテロ選手



宮崎健太選手



平井杏周選手



広島ドラゴンフライズに 現れたフィリピンの至宝

2023 年の広島ドラゴンフライズに新たな新戦力が加わった。フィリピンの至宝と呼ばれ身長 220 センチと B リーグ No.1 の身長が特徴のカイ・ソット選手である。今回は、カイ・ソット選手に取材を行い、5 つの質問に答えていただいた。

Q1.広島ドラゴンフライズに対するイメージは。

A. コーチ陣からも（事前に）聞いていましたが、オフェンスが素晴らしいチームだと思います。速い展開のバスケットボールをしていながら、3P シュートも入るので、非常に素晴らしいと感じました。

Q2.チームの雰囲気はどうか。

A. スタッフやコーチ、選手との人間関係も良く、馴染むのは簡単でした。

Q3.カイ・ソット選手の得意技は何ですか。

A. コーチ陣から求められていることを全て体現できていると思っています。例えば、パス、スクリーン、リバウンドを求められるなら、それを体現していきたいと思っています。

Q4.今シーズンの抱負は何ですか。

A. この 3 ヶ月間は、自分にとって非常に大事な期間になると思っています。コーチングスタッフやトレーナー、スタッフ全員が、練習後でもワークアウトしてくれています。このチームで成長して、僕ができることを還元していきたいと思っています。

Q5.ファンの皆様に一言お願いします。

A. 僕ができることをしっかりとコート上で表現して、優勝へチームを導いていきたいと思っています。応援よろしくお願いします！

カイ・ソット選手の加入によって新たな戦術を確立した広島ドラゴンフライズ。B リーグに新たな旋風を巻き起こすことを期待したい。

（井上弥春）



目指せ！4冠！

今年は、西永空（にしながそら）選手、大塚美季（おおつかみき）選手、松本愛理（まつもとあいり）選手の 3 名が新しく加わった。その中でも今回は、西永空選手について紹介したいと思う。

Q1.自分の強みについて教えてください

冷静な判断力とパスの精度。不利な状況に迫り込まれても、しっかりと周りを見たり指示の声を聞いたりして判断するようにしています。また、ポジションが DF ということなので、前線への正確なパスをすることは常に意識しています。

Q2.今年の目標はなんですか

社会人 1 年目、そしてトップチームであるレッドスパークスでホッケーができることに感謝し、自分の強みを最大限に生かしながらチームの勝利に貢献できるように精一杯頑張ります。





個人としては怪我をしない体をつくり、粘り強い守備をしてチームに貢献することです。チームとしては、4冠達成です。

今回紹介した西永空選手、そして大塚美季選手、松本愛理選手の3人を新加入としたコカ・コーラレッドスパークスの2023年度の活躍に期待したい。

(二宮涼楓)



超新星、広島ガスバドミントン部に現る

出会いの春、広島に新しい風が吹く。4月3日、広島ガスバドミントン部の新加入選手が発表された。近藤七帆(こんどうななほ)選手、新見桃芭(にいみももは)選手、日野石杏(ひのいしあんず)選手の3名だ。今回は、期待の3新星にインタビューを行った。

以下、近藤選手→近藤 新見選手→新見 日野石選手→日野石

Q1.広島ガスバドミントン部の印象

近藤「メンバーが仲良い」

新見「和気あいあい」

日野石「メリハリがある」

Q2 チームに加入して驚いたことはありますか？

近藤「メニュー・トレーニングの質が高いことです。」

新見「不自由なくバドミントンに専念できることです。」

日野石「環境が整っていて練習に集中できることです。」

Q3.今年度の目標を教えてください。

近藤「SJリーグでTop4に入ることです。」

新見「B代表に選ばれる、SJリーグ上位入賞することです。」

日野石「B代表 SJリーグ上位入賞することです。」

Q4.アピールポイントを教えてください

近藤「コントロール力！」

新見「前衛！」

日野石「笑顔！」

Q5.ファンの方へのメッセージをお願いします。

近藤「いつも温かいご声援ありがとうございます。新しい環境でも目標に向かって頑張ります。これからも応援よろしくお願い致します。」

新見「これからは広島ガスの一員として自覚と責任をもってひとつでも多くの大会で結果を残して応援して下さる方々に結果で恩返しができるようにがんばります。これからも応援よろしくお願い致します。」

日野石「いつも暖かいご声援ありがとうございます。これからたくさんのことを吸収して挑戦していきます。ファンの方に応援したいと思ってもらえるよう日々精一杯練習していきます。これからも応援よろしくお願い致します。」

新戦力を迎え、ますます飛躍が期待される広島ガスバドミントン部の活躍から目が離せない！

(佐々木奏人)



近藤選手



新見選手



日野石選手



広島東洋カープ

A クラス奪取に向けて羽ばたけ若鯉！



WBC で侍ジャパンが世界一を奪還し、日本中が歓喜にあふれた中、日本の野球もだんだんと熱を帯びてきた。昨年5位とBクラスに沈んだカープは、新井新監督の下、2018年以来のAクラスへと着々と力をつけている。そんなカープにとって新入団選手はAクラスに上がっていくためにとても重要な存在だ。そこで本号では、2023年に入団した新入団選手について記事を書いていく。



1人目に紹介する選手は、ドラフト1位で入団した齊藤優汰投手だ。189cm・91kgと大柄な体格の持ち主で、ストレートを軸に力強い投球が魅力の高卒右腕だ。そんな齊藤投手は元阪神タイガースの藤川球児投手、元中日ドラゴンズの中里篤史投手と両選手共にストレートに定評がある投手を目標にしており、「ストレートはどのピッチャーも投げるボールなので、そこで他の投手と違いが出れば有利になるのではないかな」と語っている。将来は先発で2桁勝利を掲げている齊藤投手が対戦してみたいバッターは東京ヤクルトスワローズの村上宗隆選手で、「これから先、実力を伸ばしていき、いずれ対戦できればいいなと思っています。」と語っている。まだまだ伸びしろたっぷりの齊藤投手のこれからに期待していきたい。

次に紹介する選手は、ドラフト2位で入団した内田湘大選手だ。内田選手は、自身のストロングポイントについて、全力で野球を楽しめるところと語っている。高校通算35本塁打を誇り、投げては最速149キロを計測。二刀流として活躍した高校時代だった内田選手は、プロに入りサードに挑戦する。「サードはあまり守ったことがないが、難しい方が燃えるタイプ」と語り、「チャレンジはどんどんしていかないとだめだと思っているし、チャレンジしないで待っていてもチャンスは来ないと思うので、チャレンジしてチャンスをつかんでいきたい」と話した。こちらはまだ18歳と若く、将来性のある若手の一人である内田選手は、西川龍馬選手などが背負ってきた63番の背番号を背負う。これについて、「期待されているんだなと感じますし、それに応えたいと思います。」と語り、将来的な目標に打者5冠を掲げた。



2023 年、カーブは十分に A クラスに入りこむ戦力を備えている。新井貴浩新監督の下、まだまだ将来性に満ちあふれている若鯉がたくさんいるカーブの活躍にこれからも期待したい。
(塩崎智也)

中国電力
陸上競技部

中国電力陸上競技部

2 人の箱根ランナー W清野が加入

今年は清野太成(きよのたいせい)選手と清野太雅(せいのたいが)選手の 2 名が新しく加わった。
そんな 2 人に取材を行った。



清野太成選手



清野太雅選手

まず清野太成 (きよのたいせい) 選手だ。

Q1 自分の強みについて教えてください

A ポジティブであり、負けず嫌いなところ です。できないことでも前向きにできるまで挑戦し続けます。

Q2 今後の目標はなんですか

A 中国電力のルーキーとして、1 年目から活躍し、有名な選手になれるよう頑張ります。

つぎに清野太雅 (せいのたいが) 選手だ。

Q1 自分の強みについて教えてください

A 自分の強みは、レース後半の苦しい場面でも粘りのある走りができることです。また、大学時代に箱根駅伝を 3 度走ったことと、マラソンを走ったという経験も強みです。大きな舞台を経験して学んだことを実業団で生かしていきたいと思います。

Q2 今後の目標はなんですか

A 今年はトラック種目の 5000m、10000m で自己ベスト更新を目指しています。トラックシーズンでいい流れを作り、駅伝に繋げていきたいです。将来的な目標としては、マラソンで活躍出来る選手を目指しています。マラソンのレベルが年々上がってきているので、その流れに置いていかれないように、焦らず地道にトレーニングを積み重ねていきます。

清野太成選手、清野太雅選手。漢字が一字しか違わないが、走りのタイプが全く違う両選手の活躍と、中国電力陸上競技部の新しいスタートに期待したい。

(福井飛我)



JT サンダーズ広島に 新しい風 川口柊人選手！

今回の記事は新加入の期待のルーキー背番号 21 番川口柊人選手に焦点を当てて紹介していきたいと思う。川口選手は 2023 年春高バレーで優勝した駿台学園から日本体育大学に進学し、今シーズンから JT サンダーズ広島に加入することが決まった。そして今回川口選手にインタビューをさせていただいた。

Q1 JT サンダーズ広島に加入したきっかけや理由を教えてください。

A、様々なタイプの中ブロックがいるため、自分自身が成長できる環境であると思ったから。

Q2 2023 年に挑戦したいことはありますか

A、積極的にコミュニケーションをとって強みをより正確に伸ばしていくこと。

Q3 川口選手自身のアピールポイントや強みを教えてください

A、しつこいブロックが持ち味です。

Q4 個人またはチームの目標を教えてください

A、フルシーズンスタメンで出ること。



今シーズンは JT サンダーズ広島の選手たち、また川口選手の躍進から目が離せない。

(高橋陸)



『NTT 西日本ブルーグラッツ』の活躍に期待

NTT 西日本ソフトテニス部は新加入選手がいいため、今回は主将と副主将の二選手にインタビューを行った。1 人目は主将の内本隆文選手だ。内本選手は内田選手とペアを組み 2022 年に開催された国内大会（ダブルス）の西日本選手権や全日本社会人選手権で優勝を果たしている。

2 人目は副主将の広岡宙選手だ。広岡選手はシングルスでは 2022 年に開催されたアジア競技大会日本代表選考会で優勝、先日（4 月 1 日、2 日）開催された全日本男子選抜で 2 連覇を達成するなど多くの実績を挙げている。



内本隆文選手

Q1.NTT の印象について教えてください。

A.全員がトップ選手でありながら日々探究心を持ってレベルアップを図っているプライベートでも仲のいいチームです。

Q2.自分の強みを教えてください。

A.ストロークのバリエーションが多いところです。

Q3.試合で意識していることを教えてください

A.試合だけに集中し、力を抜くことです。

広岡宙選手

Q1.NTT の印象について教えてください。

A.一人ひとりが自分の取り組むべき課題を的確にしています。また、全員が同じ目標に向けて、日々切磋琢磨し合い質の高い練習ができています。

Q2.自分の強みを教えてください。

A.自分は前衛なのですが、後衛並みのストローク力をもっているところです。また、ボールが2 バウンドするまで諦めないことや、負けず嫌いなところです。

Q3.試合で意識していることを教えてください。

A.整列前、チェンジサイズ時にタオルをたたみ直したり、サーブ時に5回ボールをつくなどのルーティーンを行うことです。また、緊張してしまうように体が動かないときがあるので歌いながらプレーを行います。



今シーズンから NTT 西日本ソフトテニス部はサブネーム「NTT 西日本ブルーグランツ」として活動する。今シーズンも更なる活躍に期待したい。
(渡部泰聖)

【編集】 広島経済大学 興動館 スポーツによる地域活性化プロジェクト

スポーツを通じた社会貢献

賛助会員 募集中

スポーツを通じた社会貢献活動への 貴社・団体様の参画!

温かいご支援の一つひとつが、夢と誇いのある「スポーツ王国ひろしま」への力となります。スポーツを通じた社会貢献へ継続的に寄与していくため、当NPO法人の事業目的に賛同し、活動を支援して下さる賛助会員を募集しています。多くの皆様からのご支援をもとに、さらに充実した活動を続けてまいりたいと存じます。

お力添えくださいますよう、心からお願ひ申し上げます。

■年会費(企業・団体様)

一口**50,000円**(何口でも可)

■振込先

広島銀行 本店営業部

口座名

特定非営利活動法人 広島トップスポーツクラブネットワーク

理事長 松田 真二

口座番号:普通預金 2774313

ご支援いただいている賛助会員様

RCC中国放送
株式会社RCC文化センター
学校法人石田学園 広島経済大学
有限会社伊藤久芳堂
株式会社インパルスコーポレーション
株式会社NTTドコモ 中国支社
株式会社大野石油店
広島建設株式会社 中国支店
株式会社桐原容器工業所
呉市
呉バレーボール協会
シンコースポーツ中国株式会社
セキスイハイム中国西国株式会社 広島支店
医療法人セのがわ
株式会社体育社
竹原市
株式会社千鳥
中国ジェイアールバス株式会社
株式会社中国新聞アド
株式会社中国新聞社
中国総合信用株式会社
中国労働金庫 広島県営業本部
つばめ交通株式会社
TSSテレビ新広島
ドリームベッド株式会社
西日本旅客鉄道株式会社 広島支社
株式会社日本トリム 広島支社

株式会社日本旅行広島支店
機本燃料株式会社
株式会社ひろぎんホールディングス
株式会社広島朝日広告社
広島管公学生服株式会社
広島県
広島市
広島信用金庫
広島テレビ放送
広島ホームテレビ
株式会社ヒロタニ
公益財団法人福山市スポーツ協会
平安堂梅坪(田中電機工業G)
株式会社ボブラ
特定非営利活動法人ポラーノ
前田食品(マリーナロッジBIG FLAG)
マツダ株式会社
株式会社マリーナホッププロパティ
ミサワホーム中国株式会社
株式会社メディカルイン
株式会社モルテン広島・西国支店
有限会社安田損害サービス
株式会社有文社
株式会社ユニサス
株式会社良和ハウス
株式会社ルネサンス

50番通 / 2023年3月30時点



トップス広島支援自販機 オーナー募集中!!

トップス広島では、支援自販機を設置させていただき、売上の一部をトップス広島の支援金とさせていただきます。「トップス広島支援自販機オーナー」を募集しております。



【目的】売上金収入により活動の拡大を図り、さらなる「スポーツを通じた社会貢献」に寄与する。

【対象】トップス広島、および広島のスポーツを応援していただける企業・団体・一般の方。
※ロケーション、採算性等の条件により設置いただけない場合もございますので、予めご了承ください。

支援自販機について、詳しくは下記までお問い合わせください。



私たちの名前=トップス広島

正式名称:NPO法人広島トップスポーツクラブネットワーク

「広島」という一つの「すそ野」を持ついくつかのトップスポーツクラブがネットワークをつくり、広島のスポーツ全体を盛り上げていきたいという願いを込めました。「トップス広島」の名前が、県民・市民の皆さんに親しまれるよう努力していきます。

マークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニアの選手がトップの選手を目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



NPO法人 広島トップスポーツクラブネットワーク

事務局 〒734-0007 広島市南区協栄町2-8-42 須田記念体育館1F

TEL:082-254-2012 FAX:082-251-5712 <https://www.tops-h.net/>

